

明  
象采  
見  
閩  
羅  
之  
在  
加  
五

4曾4  
096  
96





10  
696  
96

Red stamp with Chinese characters



○諸國之紙

○日本

○暹羅

○爪哇

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅

○暹羅



一 東条村の御神  
 一 信別寺の御神  
 一 山口の御神  
 一 藤原の御神

一 櫻樹園の御神

一 日之山に御神あり

神聖  
 神聖

神聖  
 神聖

○九月十日高村の御神  
 神聖  
 神聖

神聖  
 神聖

○九月十日朝小坂の御神  
 神聖  
 神聖

川にわたる  
申あ子ニ等者授  
つあゆ、わむす  
小あの校女ああ校大  
もああああ  
二葉のああああああ  
あああああ

彼馬子が回たして斯の如くいと涙り何事  
此の如く申は後なるはとん難儀に  
よやくし涙もふも苦い  
音なき妻の心うき布子帯伴若し  
草子底の及び悉く借あてられ母の赤ひん  
方より別も後泣きりりと平徳方より  
くも同ぬれし情に哀れ涙の流干させ  
まじしと宣ふ其志感のこころりて世に  
く 是れおのるこ 貴曲よりたまふ

○此頃新聞に尋し病院なる瘡をせし志水町八丁  
新上書眼病の者右瘡せし一病今則目正色と名  
つとこ年一りも果し一り年一りも果し一り  
ある者なる具に則に其る全くと夫より  
果しけし一りも果し一りも果し一りも  
果しけし一りも果し一りも果し一りも

○此頃新聞に尋し病院なる瘡をせし志水町八丁  
新上書眼病の者右瘡せし一病今則目正色と名  
つとこ年一りも果し一り年一りも果し一り

○此頃新聞に尋し病院なる瘡をせし志水町八丁  
新上書眼病の者右瘡せし一病今則目正色と名  
つとこ年一りも果し一り年一りも果し一り

○此頃新聞に尋し病院なる瘡をせし志水町八丁  
新上書眼病の者右瘡せし一病今則目正色と名  
つとこ年一りも果し一り年一りも果し一り

考  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

○九月廿五日  
松本  
川  
住  
新  
元

住  
新  
元

○塩町裏藤五若石口上着板

乍恐換台

四方の御家存益御多福とあり在延悦玉

極ハシ多ク積リ多ク私ニ儀ニ在リ共ニ業ト一ニ變シ

新ニ難シ明ク一ニ喜ビ即チ而シ多クと調ハ在リ價ト

銀ノ巻六と定ム共ニ不レ信ト者ノ好ム多ク也

迎ニ速ク換ル物ト一ニと美クと申ス今ニ何レ年ノ保

店ノ為シ朝ノ張リ必ズ口ノ難ク履キ此ノ所ノ先ニ来ル

り必ズ不レ信ト他ノ事ト申ス一ニと申ス申ス

意ノ所ノ也

○河札

一 長崎

一 長崎

一 長崎

大坂

代

代

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

○

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎

一 長崎



④ 九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

九 廿 廿 廿 廿

○ 廿 廿 廿 廿 廿

一 廿 廿 廿 廿

一 廿 廿 廿 廿

一 廿 廿 廿 廿 廿

白河城にて討つに右に遠くあり内  
加ふるにこれ傳 甲辰の年  
一 北條氏康 甲辰の年

九月二十

明宗の御代

○ 成吉思汗の征伐に  
○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

在合休大参年

他傳

在合休大参年

元少許

山西の事

在合休大参年

元少許

他傳

元少許

在合休大参年

他傳

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

○ 蒙古の征伐に

梁府の御返書  
御返書は本年  
八月

此の御返書は本年八月に  
御返書は本年八月に

九月の御返書は本年八月に  
御返書は本年八月に

八月の御返書は本年八月に  
御返書は本年八月に

○佛 季校御張出

今般洪其ノ願ニス佛國ニ師  
佛ノ業  
佛ノ業  
佛ノ業

未九月

○定

パピエル  
一六枚一組を九ト八

ペニ  
一本代二トテ

パニツク  
一本代五トテ

アニク  
一本代五トテ

クレイヨ  
一本代一トテ

入用之品は持合

八ト七ト  
金三ト  
二百ト

代料 糸系雜物局より口拂 一〇〇〇詰り

辛未 九月

○期年として 試業之上 卒新 上達よりハ夫ハ之を賞

と評する

○九月廿二日 金方 〇

大甘香居青丸  
此物より 糸系雜物局より口拂 一〇〇〇詰り

〇九月廿二日 金方 〇

〇九月廿二日 金方 〇

〇九月廿二日 金方 〇

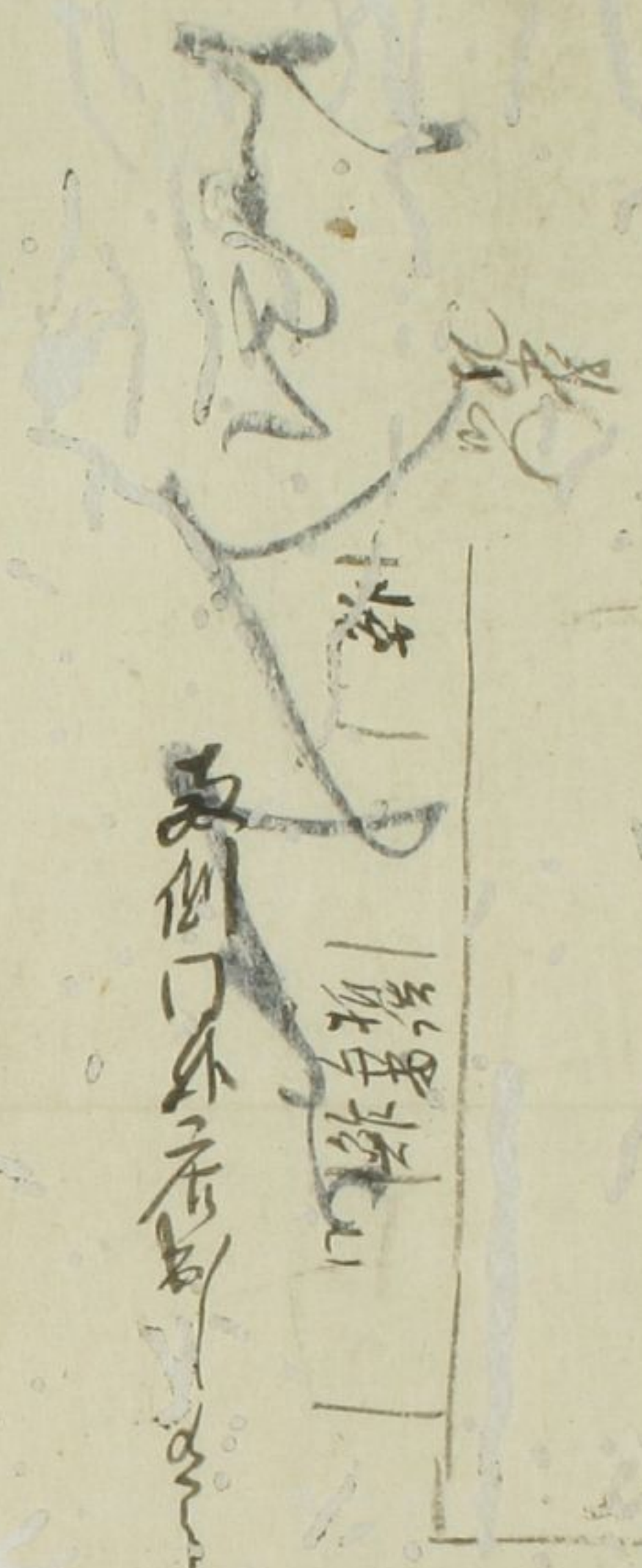
〇九月廿二日 金方 〇



人カ車 〇

○七年前の北村の年表を基に山崎の  
再訂正の文  
下巻の文

山崎



下巻  
山崎  
山崎  
山崎

○山崎の年表は、北村の年表を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、

○山崎の年表は、北村の年表を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、

○山崎の年表は、北村の年表を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、

山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、  
山崎の再訂正の文を基に、

○古衣... 正者... 佐...  
 ○... 神...  
 ○... 松... 剛...  
 ○... 市... 春...  
 ○... 長... 下...

○同十三  
 ○... 三...  
 ○... 三...

○... 會... 若... 父...  
 ○... 慶... 寧...  
 ○... 子... 人...  
 ○... 慶... 寧... 三... 網... 姓...  
 ○... 政... 道... 若... 女...

漢書  
慶雲寺  
元將年  
游船  
未也移八載

此年

齋庵

外中三人

皆...

八  
...

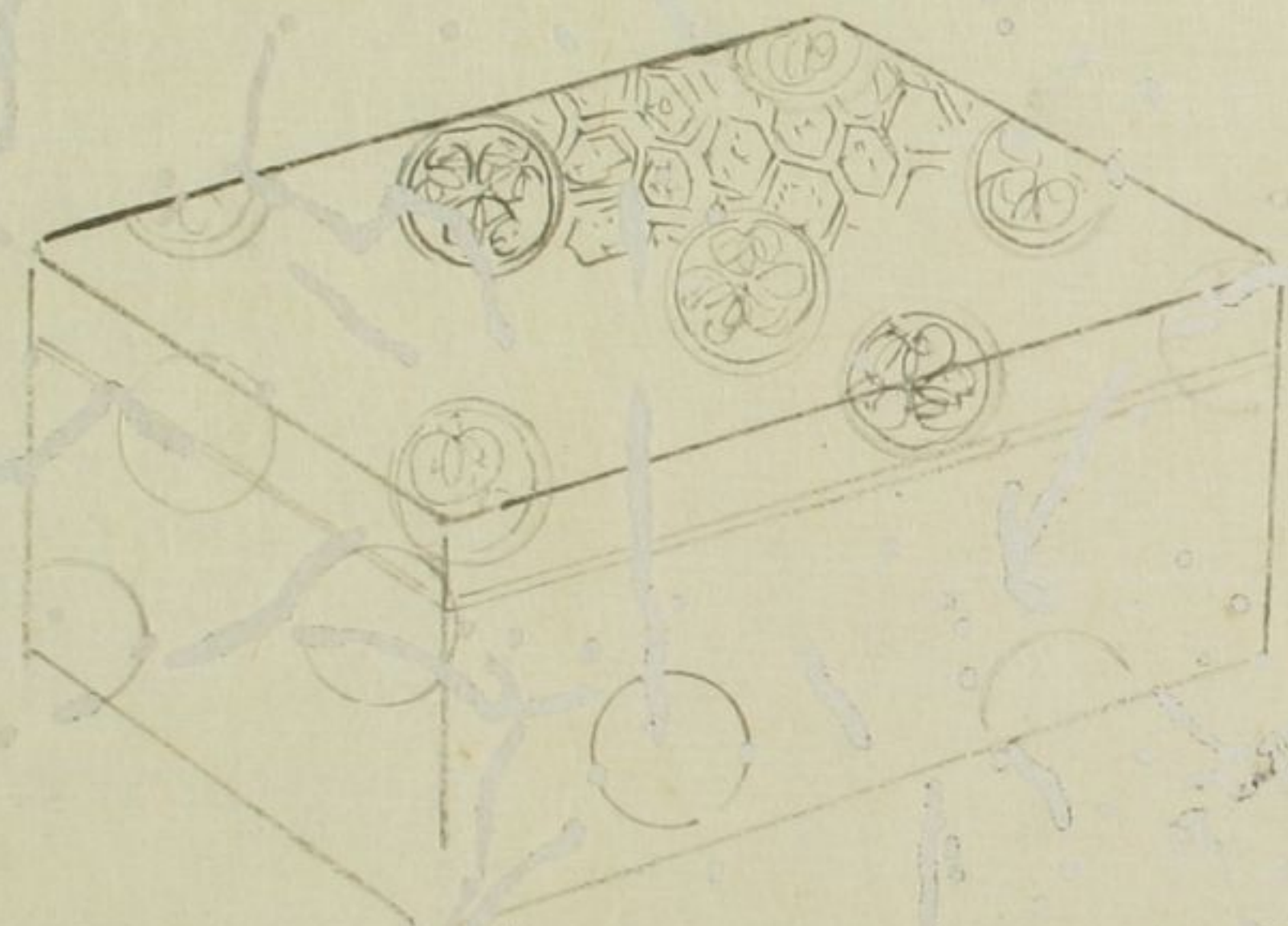
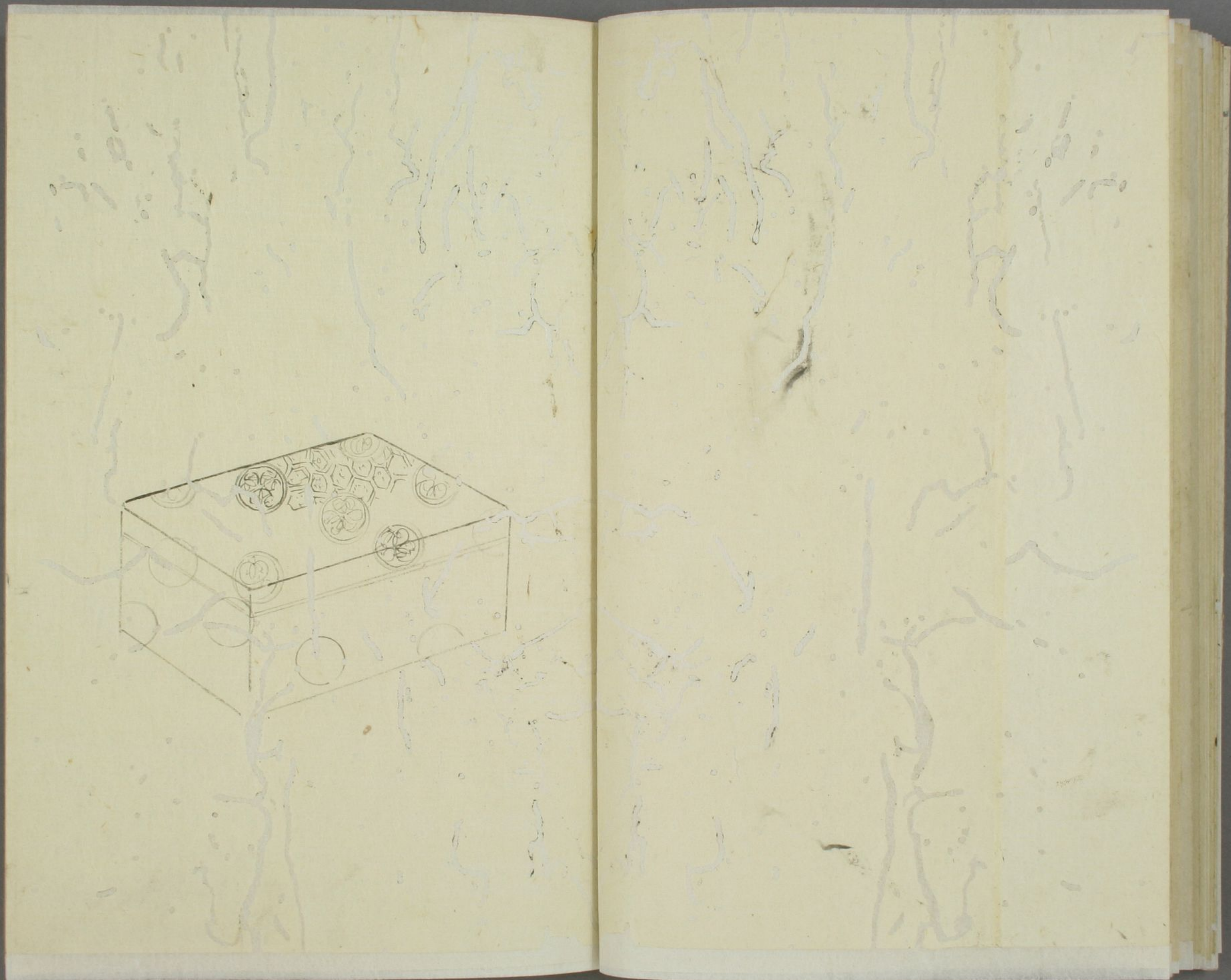


...

慶雲寺  
...

...







○十一

御天舟拜見人数 八百一十人

右舟見し者ハ後方異船被テ左ノ此

五重目ニテ指火被テ多ク被テ此者アリテ此

同五重目ニテ采ヲクシテ大人有リ勝テ此

二重目ニテ由産也ニ被テ人有リ自ニ此

○今日御切也 野 小市村七人 元格 成

送 海村権九郎 元格 成 有之

○此物是物 我士 年世 凡之者 其有言 其也

右承 米 令

御天舟 拜見

御天舟 拜見

御天舟 拜見

御天舟 拜見



御天舟 拜見

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or introductory note.

Handwritten text in the middle of the right page, continuing the notes.

Handwritten text on the left side of the right page.

Handwritten text on the right side of the right page.

Main body of handwritten text on the right page, including a circular stamp at the bottom right.

Vertical handwritten text on the far left edge of the right page.

Handwritten text at the top of the left page.

棋令 (Shi no Rei) - Chess Order

Main body of handwritten text on the left page, including the characters 棋令 and 棋令.

Handwritten text on the right page, including the characters '創' (creation) and '本' (original), with various annotations and smaller characters.

Handwritten text on the left page, including the characters '天神' (celestial deity) and '將' (military leader), with various annotations and smaller characters.

○本館松山... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

○... 藤末三年

一様羊羹  
一山草子  
一草子  
一草子

私文只介と草草其仕事少紙落  
難を其全を有る者大に  
密領事体美人大下老  
不亦後改全を以礼以山  
草子 二日 草子 草子 草子 草子

○美り舟部清源院を高月八人の中  
指葉名に門後  
右の部信若高人小を門後

○九

一高方利直中

一高方利直中

一高方利直中  
推九所

一高方利直中  
切切利 中

吉野村 道定 謹啓

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

西 洋 學 校

再 次 招 生 啓 事

同 年 〇 〇 〇 〇 元 刊 〇 〇 〇 〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

東の好愛一七名例の通會通一八名例  
一八名例の通會通一九名例  
一九名例の通會通二〇名例  
二〇名例の通會通二一名例  
二一名例の通會通二二名例  
二二名例の通會通二三名例  
二三名例の通會通二四名例  
二四名例の通會通二五名例  
二五名例の通會通二六名例  
二六名例の通會通二七名例  
二七名例の通會通二八名例  
二八名例の通會通二九名例  
二九名例の通會通三〇名例  
三〇名例の通會通三一名例  
三一名例の通會通三二名例  
三二名例の通會通三三名例  
三三名例の通會通三四名例  
三四名例の通會通三五名例  
三五名例の通會通三六名例  
三六名例の通會通三七名例  
三七名例の通會通三八名例  
三八名例の通會通三九名例  
三九名例の通會通四〇名例  
四〇名例の通會通四一名例  
四一名例の通會通四二名例  
四二名例の通會通四三名例  
四三名例の通會通四四名例  
四四名例の通會通四五名例  
四五名例の通會通四六名例  
四六名例の通會通四七名例  
四七名例の通會通四八名例  
四八名例の通會通四九名例  
四九名例の通會通五〇名例  
五〇名例の通會通五一名例  
五一名例の通會通五二名例  
五二名例の通會通五三名例  
五三名例の通會通五四名例  
五四名例の通會通五五名例  
五五名例の通會通五六名例  
五六名例の通會通五七名例  
五七名例の通會通五八名例  
五八名例の通會通五九名例  
五九名例の通會通六〇名例  
六〇名例の通會通六一名例  
六一名例の通會通六二名例  
六二名例の通會通六三名例  
六三名例の通會通六四名例  
六四名例の通會通六五名例  
六五名例の通會通六六名例  
六六名例の通會通六七名例  
六七名例の通會通六八名例  
六八名例の通會通六九名例  
六九名例の通會通七〇名例  
七〇名例の通會通七一名例  
七一名例の通會通七二名例  
七二名例の通會通七三名例  
七三名例の通會通七四名例  
七四名例の通會通七五名例  
七五名例の通會通七六名例  
七六名例の通會通七七名例  
七七名例の通會通七八名例  
七八名例の通會通七九名例  
七九名例の通會通八〇名例  
八〇名例の通會通八一名例  
八一名例の通會通八二名例  
八二名例の通會通八三名例  
八三名例の通會通八四名例  
八四名例の通會通八五名例  
八五名例の通會通八六名例  
八六名例の通會通八七名例  
八七名例の通會通八八名例  
八八名例の通會通八九名例  
八九名例の通會通九〇名例  
九〇名例の通會通九一名例  
九一名例の通會通九二名例  
九二名例の通會通九三名例  
九三名例の通會通九四名例  
九四名例の通會通九五名例  
九五名例の通會通九六名例  
九六名例の通會通九七名例  
九七名例の通會通九八名例  
九八名例の通會通九九名例  
九九名例の通會通一〇〇名例

○又今度市井の制り別れ申すに  
後中村代村と申すは慶更に  
三十七年九月廿一日

三十七年九月廿一日

○又今度市井の制り別れ申すに  
後中村代村と申すは慶更に  
三十七年九月廿一日

新刊の行を以て終るべし  
中刊の行を以て終るべし

社は年々能く進歩し、若くは若業後世の爲め此方  
以後に之を更に進歩せしむる所あり

米穀 知由 白米 俵  
御座りませう

抄紙 御座りませう

右右番重と云ふは、古昔に於て  
此の如くは、此の如くは、此の如くは

新色に於ては、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは

此の如くは、此の如くは、此の如くは



○廿八日 幸...  
 ○廿七日 幸...  
 ○廿六日 幸...  
 ○廿五日 幸...  
 ○廿四日 幸...  
 ○廿三日 幸...  
 ○廿二日 幸...  
 ○廿一日 幸...  
 ○廿日 幸...  
 ○十九日 幸...  
 ○十八日 幸...  
 ○十七日 幸...  
 ○十六日 幸...  
 ○十五日 幸...  
 ○十四日 幸...  
 ○十三日 幸...  
 ○十二日 幸...  
 ○十一日 幸...  
 ○十日 幸...  
 ○九日 幸...  
 ○八日 幸...  
 ○七日 幸...  
 ○六日 幸...  
 ○五日 幸...  
 ○四日 幸...  
 ○三日 幸...  
 ○二日 幸...  
 ○一日 幸...

今般地向十相改

上級 五百文  
中級 三百文  
下級 二百文

名物 伊勢 菓 蒲 餅

兼勢州此若物\*

兼若將而 伊勢七人年 初後尾

兼金丹 赤坂者乃 正平傳之茶

此兼の... 十二七月十四日

田十者

兼田三彦御札  
白子予安觀音御守取次仕免

一筆元包(口上) 世ん

上(口上) 下(口上) 世ん

代(口上) 世ん

世ん 代(口上) 世ん

世ん 代(口上) 世ん

代(口上) 世ん

世ん 代(口上) 世ん

世ん

世ん 代(口上) 世ん

世ん 代(口上) 世ん

世ん 代(口上) 世ん

金... 格... 流... 言... 有... 銀... 一... 大... 看... を... 保... 美... 大...

Handwritten notes on a white slip of paper, including the name "Shimada" (島田) written vertically.

島田 (Shimada) written in a fan-shaped frame.

梅鏡 (Ume no Kagami) written in a cloud-shaped frame.

白土 (Shirotsuchi)

Handwritten notes at the bottom left of the page, including the name "Shimada" (島田) written horizontally.

Handwritten mark at the bottom center of the page.

○

Multiple columns of handwritten notes on the right page, including names like "Shimada" (島田), "Shimada" (島田), and "Shimada" (島田).

一 鶴屋 せん

代 せん

一 山内 せん

代 せん

一 七條 せん

代 せん

一 西園 せん

代 せん

一 年々 せん

一 一 せん

一 一 せん

一 一 せん

一 一 せん

白土 寄

梅 焼

今般 右 左 右 実 相 娘 中 右 左

代 右 左 格 別 上 下 左 右 信 右

行 年 西 用 向 込 山 左 信 右

一 一 せん

一 一 せん

馬 大 一 一 せん

一 一 せん

金... 格... 流... 有... 一... 大... 看... 候... 善... 大...

*[Faded blue ink text on a pinkish background]*

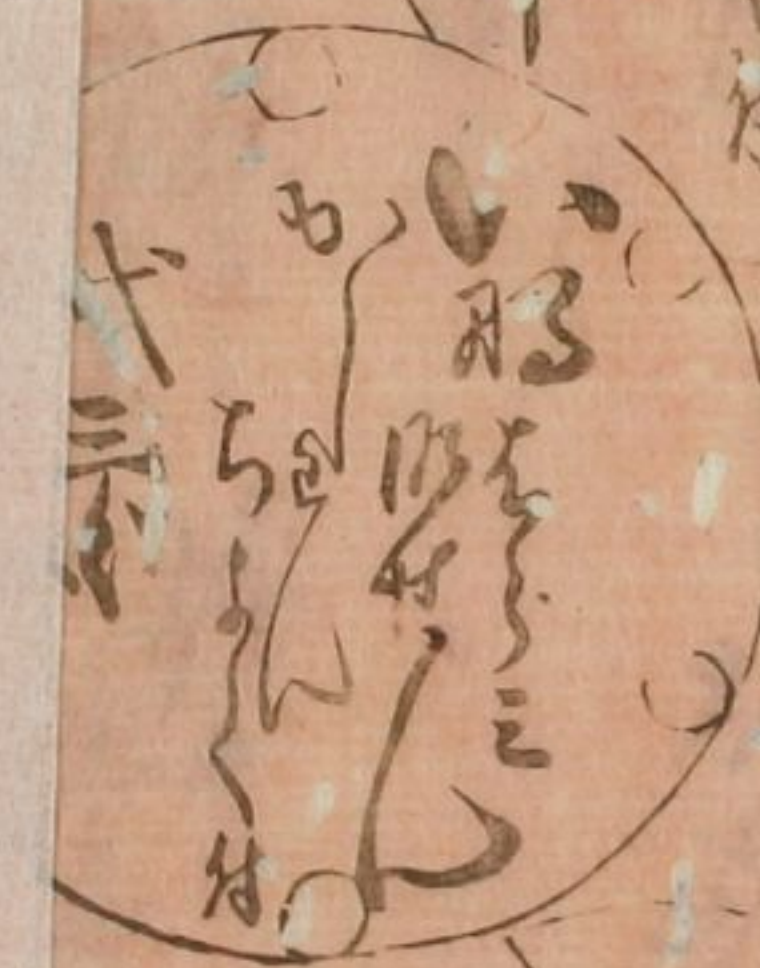
卯年

松茸  
茶  
代  
下

口  
淡

代  
下

代  
下



代下  
代下  
代下  
代下

代下

*[Faded blue ink text on a light background]*

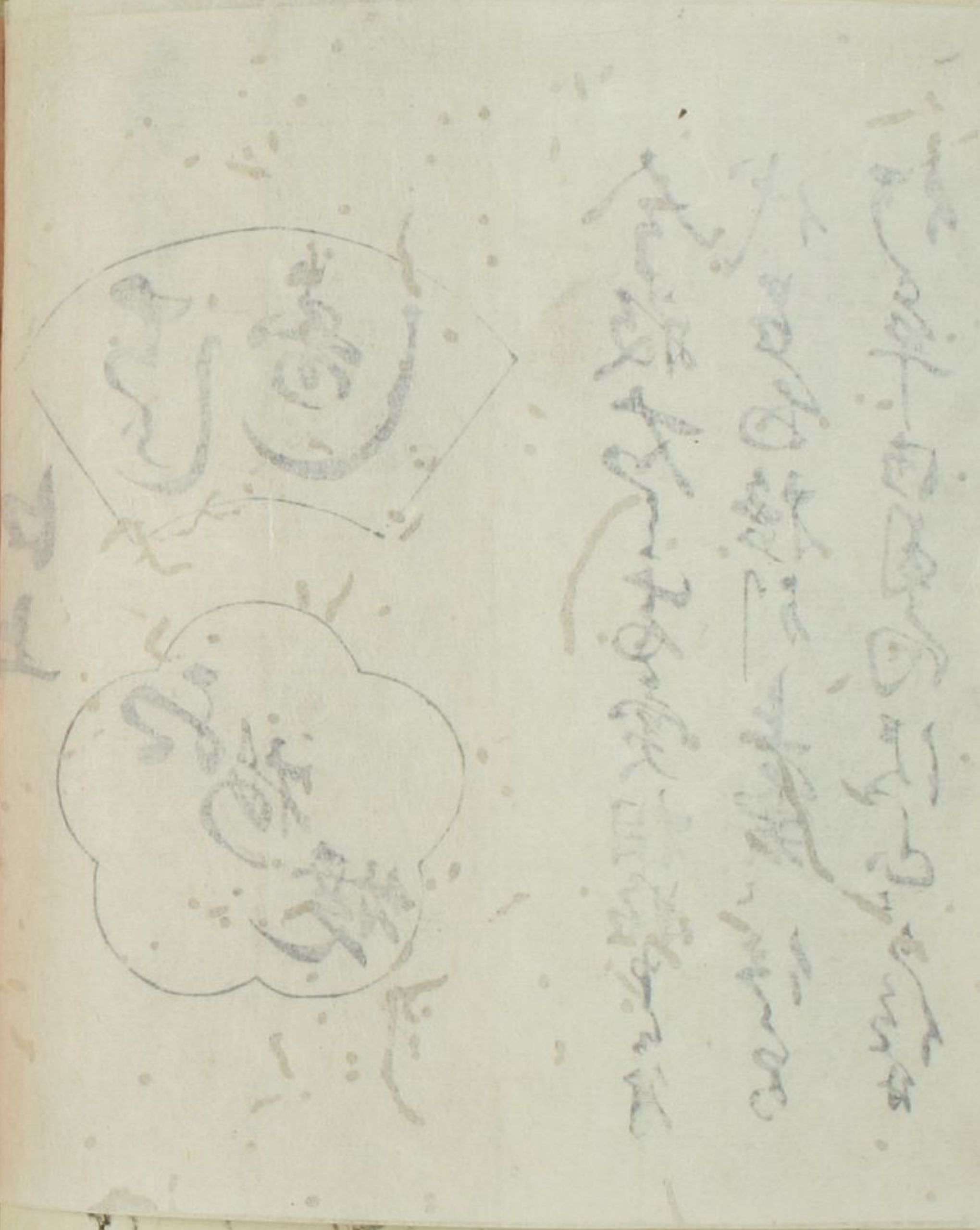
代下



代下

鶴... 代...

... ..



〇九

松茸... 代...

代...

代...

代...

口...

即席

料...

只今... 白... 中... 糸... 糸... 糸...

五月七日

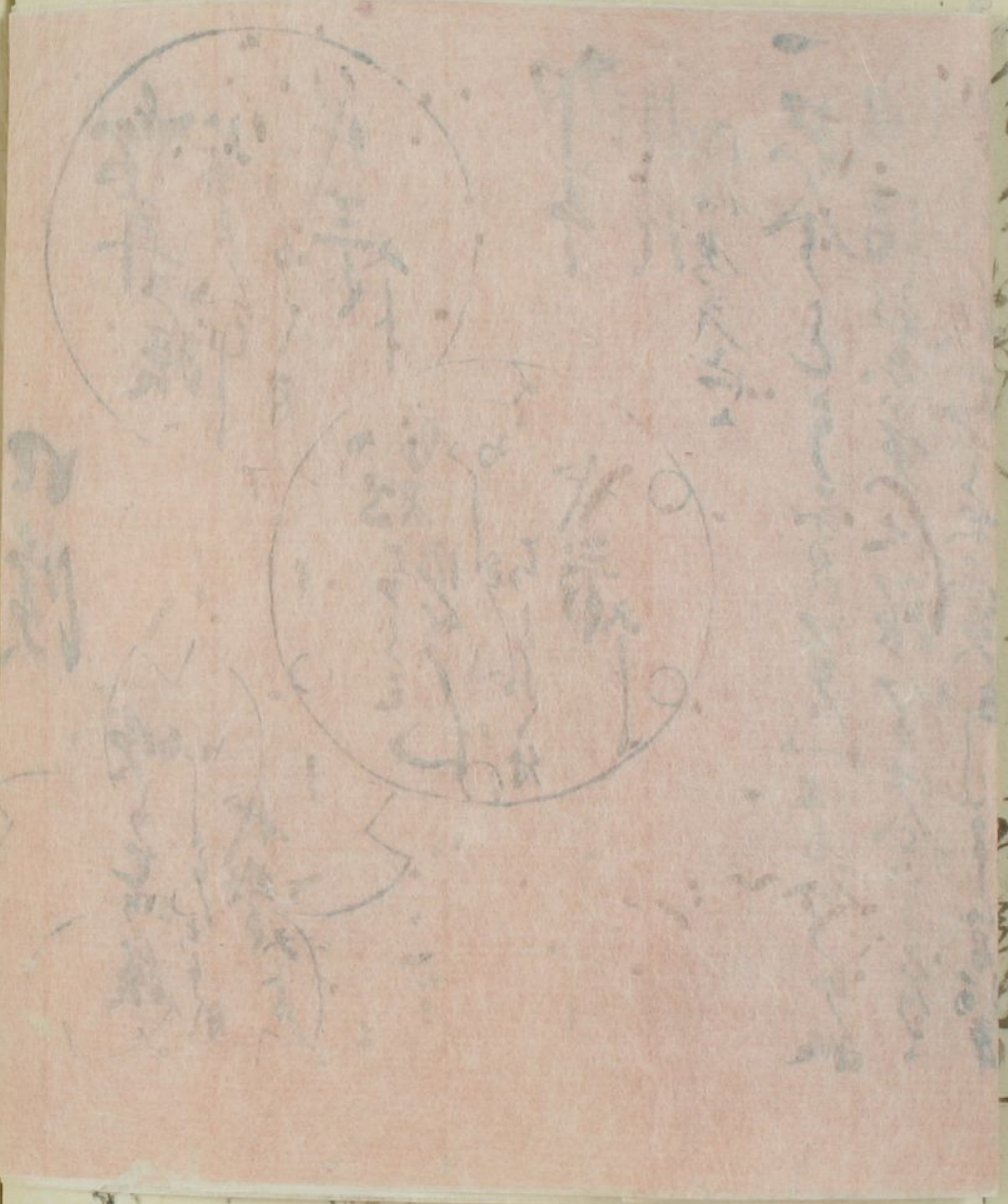
...

...

...

...

書後  
...



○五月十日

御多那  
...

今般諸  
...

○ 九月 東  
○ 九月 元  
○ 九月 常  
○ 九月 同  
○ 九月 喜  
○ 九月 同  
○ 九月 同

九月下旬 諸学校生徒  
一紙 見下

九月下旬 諸学校生徒  
一紙 見下

九月下旬 諸学校生徒  
一紙 見下

九月下旬 諸学校生徒  
一紙 見下



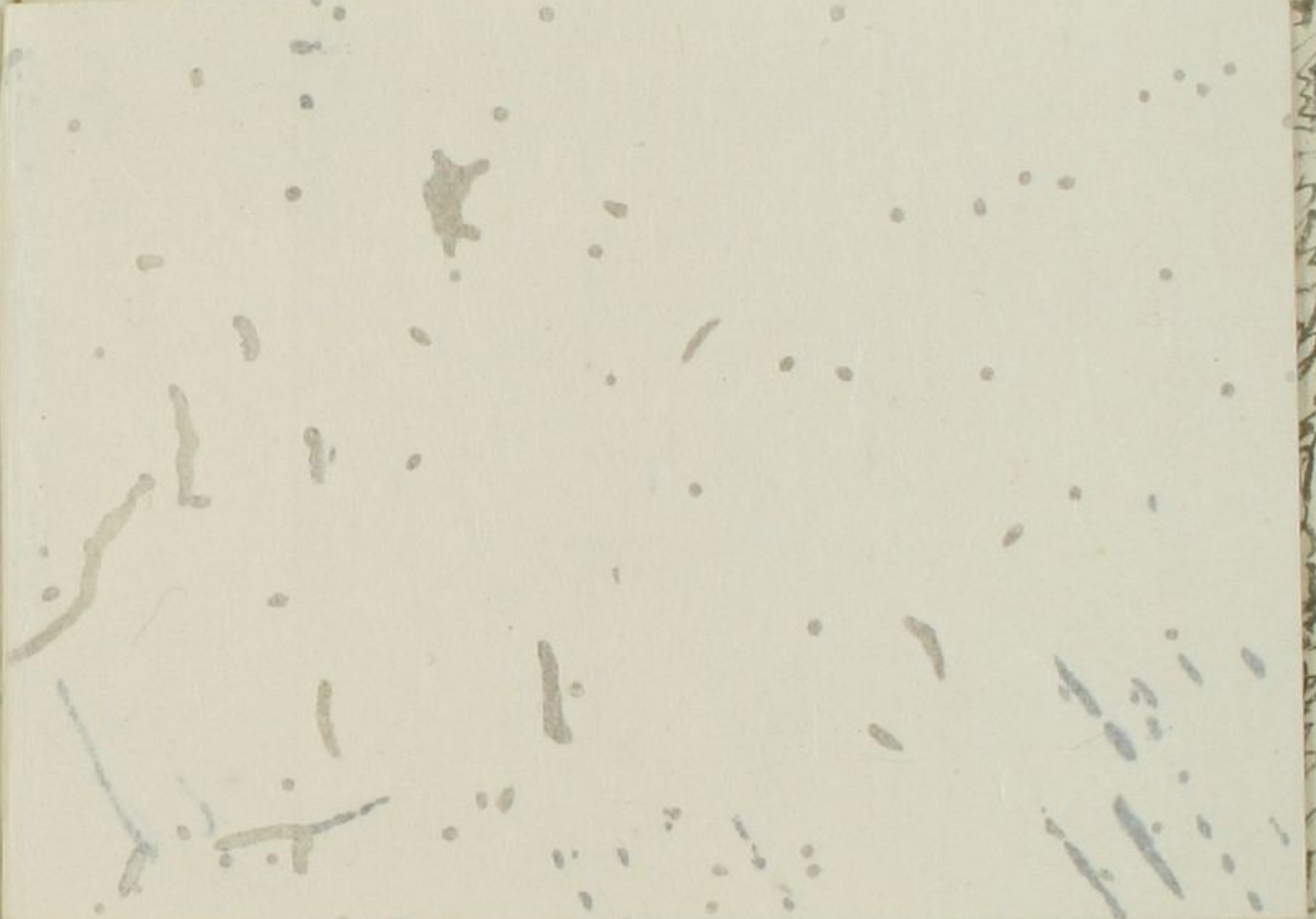
九月下旬 諸字 校生 徒  
 一紙 是 概 下  
 九月下旬 諸字 校生 徒  
 一紙 是 概 下  
 九月下旬 諸字 校生 徒  
 一紙 是 概 下

○ 東 一  
 ○ 九 月  
 ○ 九 月  
 ○ 九 月



九月下旬 諸字 校生 徒  
 一紙 是 概 下  
 九月下旬 諸字 校生 徒  
 一紙 是 概 下

Handwritten notes at the top of the right page, including characters like 水, 火, 土, 金, 木.



Handwritten notes at the bottom of the right page, including characters like 水, 火, 土, 金, 木.

○

東... 五十... 日本... 一... 人...

○

九月... 高... 和... 家...

○

九月... 身... 清... 女...

○

九月... 再... 九...

○

九月... 傳... 人... 數...

水之号  
牛号之号

一小隊

佛之号  
牛号之号

第一小队

及札下之号

本四小队有

區花弁

~~本四小队有~~  
~~區花弁~~  
~~...~~

八石古屋家此

一洋家子校

佛学

教師

佛人 ぶりー工

同

東京府 榎正十郎

生徒 四百人

月二度定入者ヲ註三甲人々

英學

教師

英人 アレキ サトル  
工ニケテシ

同

横嶺 又三片

生徒 三百人  
右同前

中學校

支那學 教師

支那 金

字嘉穂

一 小學校

右 七ヶ所 校長 兼 教セリ

一 女學校

右 一ヶ所 校長 兼 教セリ 女教師ハ

一 病院

右 一ヶ所 當 八月 迄 迄 迄

一 貧院

右 一ヶ所 昨 迄 迄 迄

○ 遊園地 二ヶ所 早川村 迄 迄 迄

修繕

箱

三ヶ所

特別 迄 迄 迄

常陸 迄 迄 迄

村 迄 迄 迄

朝 迄 迄 迄

芭山 迄 迄 迄

箱 迄 迄 迄

田 迄 迄 迄

紹興 本有... 田...

...

...

行... ...

...

...

...

...

...

...



終... 此... 之... 以... 其... 所... 由... 而... 出... 之... 故... 曰... 終... 始... 者... 一... 也... 故... 曰... 終... 始... 一... 也... 故... 曰... 終... 始... 一... 也...

五日... 終... 始... 一... 也... 故... 曰... 終... 始... 一... 也... 故... 曰... 終... 始... 一... 也... 故... 曰... 終... 始... 一... 也...

Handwritten notes in cursive script, including the word "Bible" and other illegible words.

Handwritten notes in cursive script, including the word "Bible" and other illegible words.

Handwritten notes in cursive script, including the word "Bible" and other illegible words.

Handwritten notes in cursive script, including the word "Bible" and other illegible words.



Handwritten notes on a ruled page, mostly obscured by heavy water damage. Faint, illegible markings are visible within the red-lined border.

Handwritten notes on a ruled page, mostly obscured by heavy water damage. Some legible fragments include:  
- *L'attention* (written vertically)  
- *est l'objet de la*  
- *question de*  
- *l'importance*  
- *de la*  
- *question de*  
- *l'importance*

そはくは... きぬのうら 披文  
平心... 色

西

う... の... 全  
ふ... 全

大... 披文 龍... 披文

大... 披文 龍... 披文

大... 披文 龍... 披文

大... 披文 龍... 披文

大... 披文 龍... 披文



○ 十月の末に方々を遊覧し、夜に宗校寺に宿す。其の夜、

寺の庭に月あり、光を照らす。其の光、人の心を照らす。

一 遊覧の途に、海に舟あり。舟中の人、舟を揺らす。

○ 舟中の人、舟を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

○ 舟の揺らぐ、人の心を揺らす。舟の揺らぐ、人の心を揺らす。

正月... 大... 抄...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

○... 女... 女... 女...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

○... 女... 女... 女...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

○... 女... 女... 女...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

○... 女... 女... 女...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

西... 官...  
...  
...  
...

定... 所...  
...  
...  
...

社	乳	莖
老	魁	

魁... 魁...  
...  
...  
...

夏月係針六萬九千六百六十八  
數の左第課八千七百七  
勢仍移尾 抄のり人

新訂八萬字考六條或  
男 四萬五千二百九  
女 四萬二千二百九

之故 或万四千六百七  
勢 一子二子七所四

外口

與計或子七子塔八宿費

辛未 月五日

四

...

...

...

辛未七月十五日於志水日於松尾寺  
辨我天卷了洞字道不滿時雨

書畫展觀

補助

松居 逸 泥江

會主

既月 不及 耕雲

十月七日

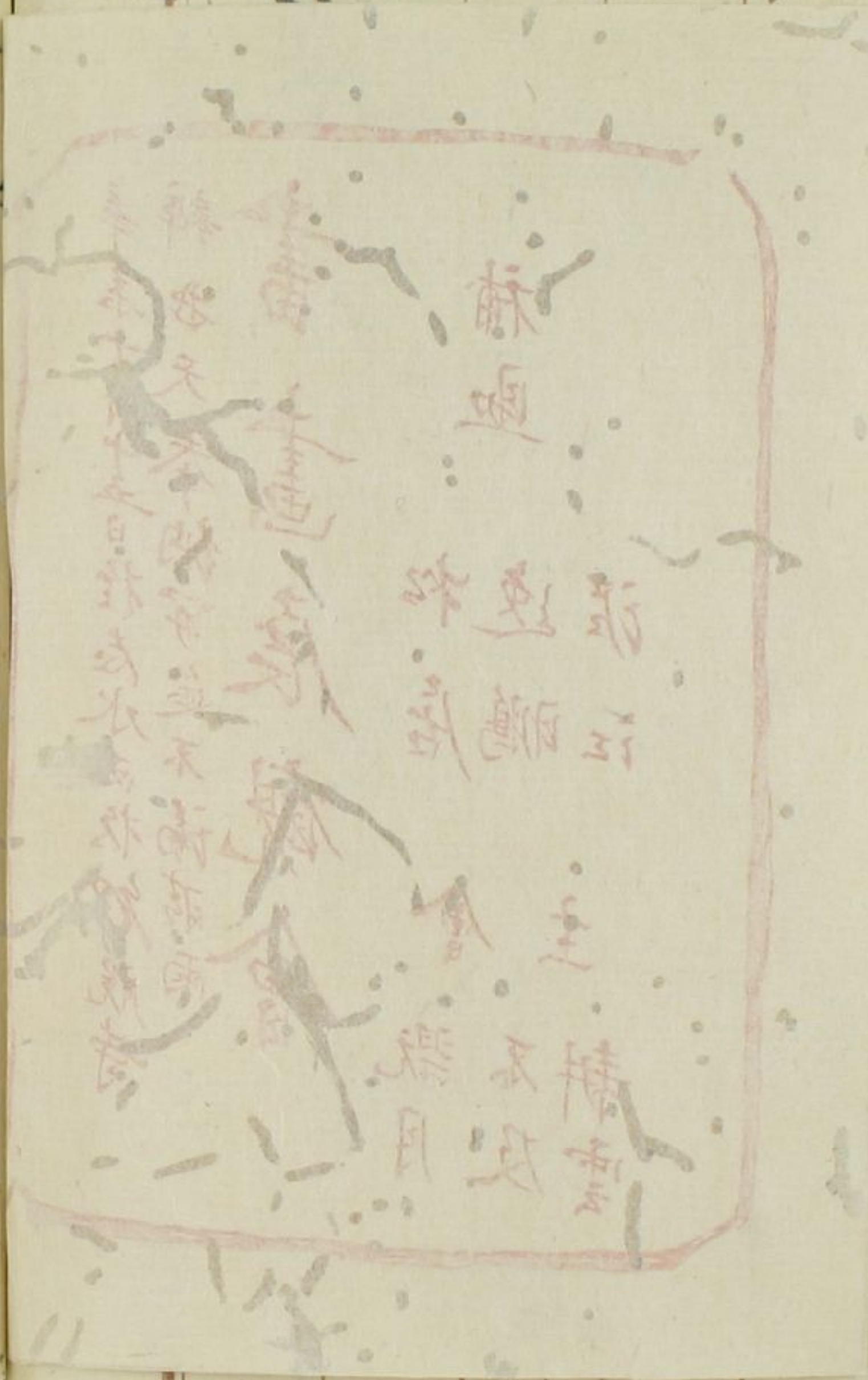
神樂町

...

外口

其計或為子七子塔八宿費

月五日



菜子

御蓋菜子 類

右高實江... 仕雅有仕... 神樂... 廣石文... 山中... 御蓋... 菜子

十月七日

神樂町

江戸屋敷



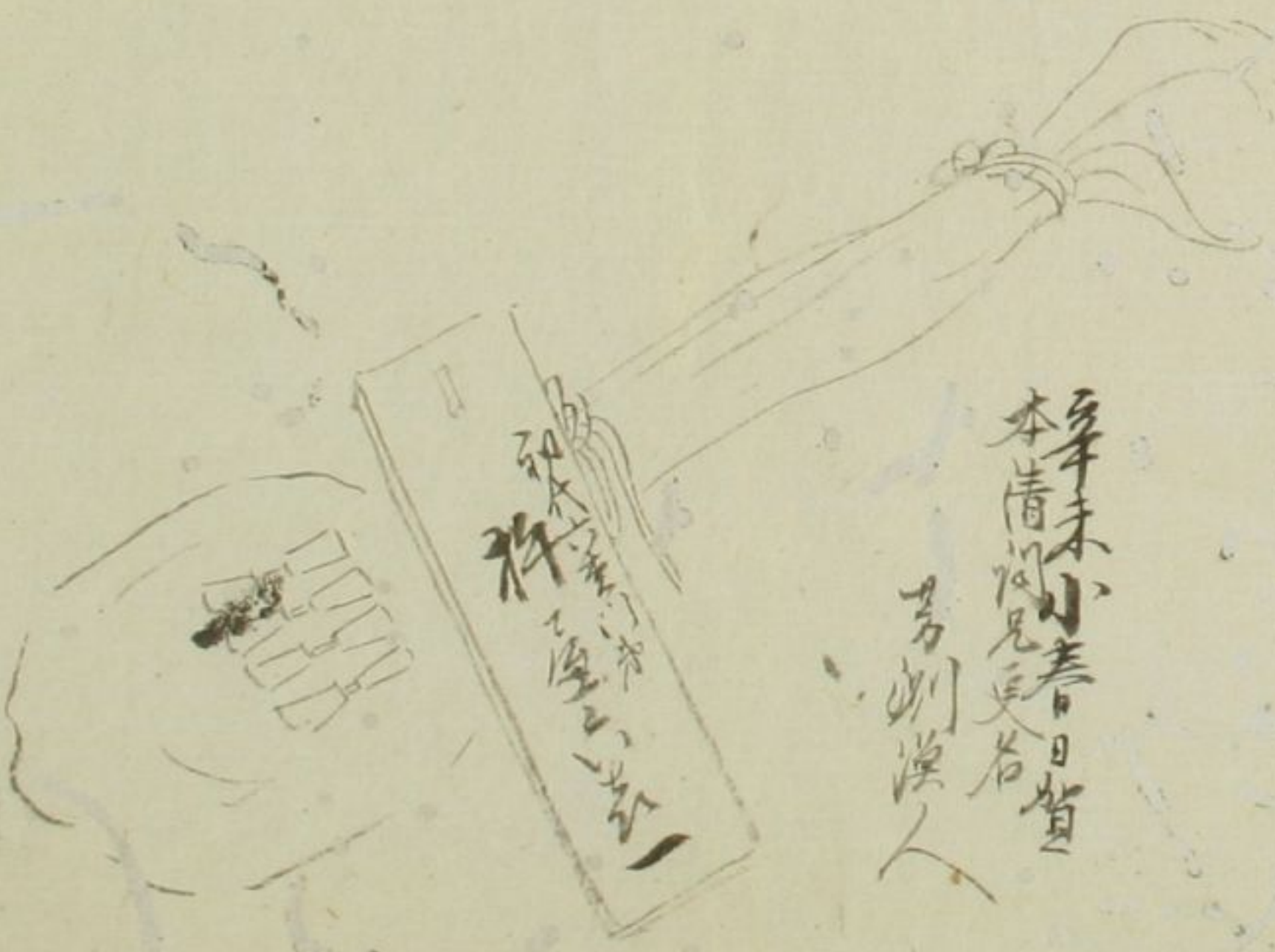
卯の口

Handwritten text in a rectangular frame, likely a letter or a specific entry. The text is written in cursive and includes characters such as 卯, 口, and various other kanji.

○ 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口 卯の口

おのまじい... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口...

卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口...



卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口... 卯の口...

○月札の字

一有油

一生油

知(注)...

志(注)...

任(注)...

月

代(注)...

諸(注)...

吉(注)...

文七

○東杉村長...

たし(注)...

振(注)...

春(注)...

十月朔

村(注)...

今(注)...

と(注)...

但(注)...

心(注)...

十月朔

右(注)...

左(注)...

何(注)...

好族  
男何人  
女何人

何人

一 何人

何人

帰田

一 何人

均録

一 何人

月

別紙雛形と通し...

一 何人

○九月下旬諸町戸籍改定...

或ハ...

從是 何町  
往南

一 何人

一 何人

一 何人

一 何人

一 何人

從是 何所

此書并釋其目... (vertical text)

〇九月十日  
此書并釋其目... (large vertical text)

〇九月十日

此書并釋其目... (vertical text)

今來十月十日

林正十

佛蘭西語... (vertical text)



第一等 第二等 第三等 第四等 第五等 第六等 第七等 第八等 第九等 第十等  
 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

第一等 第二等 第三等 第四等 第五等 第六等 第七等 第八等 第九等 第十等  
 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

多年素志火時伸何必旅  
 程感昔年回顧  
 不知涉溪濕衣類  
 志願 志願 志願 志願  
 志願 志願 志願 志願  
 志願 志願 志願 志願  
 志願 志願 志願 志願

第五卷 第六 温養壯胎利胎

○九月廿七日 夜弟十二子 東京 振留二首  
 出火折節西北 氣烈烈 一方八  
 影 神解荷社夫 新村  
 川 舟直 俊後 方八 田所南  
 秋 物 難 上 終 者 國 運 幸 會  
 策 五 國 皇 以 親 皇 弟 弟  
 有 誌

○十月廿八日 二十七日 為 皇 弟 弟 弟 弟  
 二 九 山 養 育 皇 弟 弟 弟 弟  
 大 路 以 皇 弟 弟 弟 弟 弟  
 ○十月廿九日

中 學 教 授 中 學 教 授  
 全 長 中 學 教 授  
 小 子 小 子  
 中 學 教 授

中 學 教 授 中 學 教 授  
 中 學 教 授 中 學 教 授

Handwritten text in a cursive script, likely a list or record. Includes circled numbers and dense characters.

Handwritten text, possibly a signature or specific note, located in the lower right quadrant of the page.

Vertical handwritten characters, possibly a date or a specific label.

Handwritten text, possibly a name or title, written vertically.

A collection of handwritten characters and notes, including what appears to be a list of items or names.



山川

日一

山

月

山川  
後  
森  
三  
三

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山





一子相太は昔年主威をくく愛をまきり今も  
去りしはもろり花をば小使せんて成家の  
瓶をい三用とさるれはりり如何に  
誤る直うそを<sup>母</sup>はるる<sup>周</sup>幸おんとす  
それともかきまを候若しと唯ありて降りし  
すも<sup>院</sup>は内、林のそり何と引  
すく<sup>愛</sup>あまのあやすらもさすくえらさす  
業<sup>一</sup>ちり<sup>意</sup>の<sup>人</sup>代<sup>の</sup>も<sup>見</sup>お<sup>り</sup>の<sup>指</sup>指<sup>り</sup>  
家子<sup>絶</sup>絶<sup>良</sup>良<sup>路</sup>路<sup>こ</sup>こ<sup>ま</sup>ま<sup>と</sup>と<sup>を</sup>を<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>ま<sup>も</sup>も<sup>甲</sup>甲<sup>の</sup>の<sup>を</sup>を<sup>く</sup>  
左<sup>を</sup>を<sup>い</sup>い<sup>り</sup>り<sup>死</sup>死<sup>し</sup>し<sup>り</sup>り<sup>十</sup>十<sup>人</sup>人<sup>の</sup>の<sup>た</sup>た<sup>め</sup>め<sup>に</sup>  
死<sup>傷</sup>傷<sup>け</sup>け<sup>り</sup>り<sup>か</sup>か<sup>の</sup>の<sup>物</sup>物<sup>を</sup>を<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>ま<sup>も</sup>も<sup>子</sup>子<sup>習</sup>習<sup>を</sup>を<sup>口</sup>  
解<sup>除</sup>除<sup>す</sup>す<sup>こ</sup>こ<sup>の</sup>の<sup>事</sup>事<sup>を</sup>を<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>ま<sup>も</sup>も

湖の  
○ 龍神の車は移れに龍書とる

○ 願地丸

未夕願丸

何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

元仙  
何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

何月幾り福任

元仙  
何月幾り福任

名跡新世内家勸力立所一書

○有寺、道書

春日井郡村東移

戸數

	今尾縣 一戸	十戸	士族
全昭 縣	今尾 縣	七十戸	卒
			社
		一戸	寺
			修驗
			堂
			陰陽師
		七十戸	農
		十五戸	高
		八百八十戸	總計

口人

	族士
	男
人十	主為
人七十二	如
人百六	率
人廿二	男
	主當
	女
	官祠
	男
	女
	侶僧
人四	男
人四	女
	尼
	民平
人百五十五	男
人百八	女
人百四	計都

春日井改村東杉

○

其子及元集義取石孫中大隊正一及  
 建入用全不日隊中名高者一六  
 此日如來先達者身下流者八初定  
 合之及乃活算中其以取  
 形隊中役用中初之結也  
 中在之元名隊中一五之結  
 之志水元夫及之東京之  
 有同人歸縣志中初之結在  
 依形中川島茂等之入當分

漢文自何身之有哉。亦有如何。人多  
 全解石。知定合。也。後。如何。也。也。  
 義。未。未。清。鼻。也。也。也。也。也。  
 家。家。家。家。家。家。家。家。家。家。家。  
 石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。  
 確。確。確。確。確。確。確。確。確。確。確。  
 之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。  
 之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。  
 胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。  
 胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。胡。

下札。石。何。何。何。何。何。何。何。何。何。何。何。  
 各。各。各。各。各。各。各。各。各。各。各。  
 辛。辛。辛。辛。辛。辛。辛。辛。辛。辛。辛。

十月...

元集。義。義。義。義。義。義。義。義。義。義。義。  
 石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。  
 仍。仍。仍。仍。仍。仍。仍。仍。仍。仍。仍。

明治四年

石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。石。  
 中。中。中。中。中。中。中。中。中。中。中。  
 元。元。元。元。元。元。元。元。元。元。元。









